

廃炉が予定されている  
大飯 1、2 号機

# 廃炉の時代

## 「私たち」の選択は？

◆「原発 17 基体制」の福井県でも既に 7 基の廃炉が決められ、廃止措置が進められています。原発に賛成・反対にかかわらず、私たちは否応なしに「廃炉の時代」に突入しつつあります。

廃炉・使用済み核燃料処分の方法は、未来世代に思いをはせながら、今「私たち」が取り組まなければならない共通の課題です。

国は原子発電所の施設等については解体撤去を基本方針としており、使用済み核燃料については再稼働を目的とした乾式貯蔵が取りざたされ、最終的には深地層処分が計画されています。

はたしてそれでよいのか。より「命にやさしい」代替方法について、長澤先生より分かりやすく解説していただきます。



講師:長澤啓行さん

(若狭ネット資料室長・大阪府立大学名誉教授)

●**とき**:2020年2月16日(日)午後1時半より(約1時間半)

●**ところ**:嶋田病院 7F(福井市西方1丁目2-11)

\*クルマでお越しの方は、嶋田病院駐車場をご利用ください。

\*入場は無料です。

\*福井から原発を止める裁判の会 代表:中嶋哲演、事務局長:嶋田千恵子  
連絡先 南康人(090-1632-8217)小野寺恭子(090-6275-4451)

